

説教要旨「あなたの罪は赦された」

ルカによる福音書5章17～26節

イエス様が教えを語っておられると、突然、部屋の天井に穴が明けられ、そこから、一人の病人を寝かせた床が吊り降ろされてきました。中風を煩っていて歩くことのできない男を床に乗せたまま運んで来て、イエス様の前に置こうとしたのだけれども、家には大勢の人々が詰めかけていて床を運び込むことができなかったのです。屋根に上り、瓦をはがして穴を開け、病人を床ごと吊り降ろしたのです。

中風というのは、脳梗塞など脳血管の病変による半身不随や手足の麻痺を指す病名です。おそらくこの吊り下げられた人も、寝たきりである自らの境遇を恨み、このような境遇を与えた神様を憎んでいたのではないのでしょうか。だからこそイエス様は、この病人ではなく、病人を運んできた人たちに信仰を見出し、罪の赦しを告げられたのです。

神様のことを憎んでしまう私たちを、にもかかわらず神様が愛して下さり、その愛によって憎しみを取り除いて下さり、私たちと新しい、よい関係を結んで下さる、それが神様による罪の赦しです。「あなたの罪は赦された」という宣言が神様から与えられることによってこそ、私たちは神様を愛し、また隣人をも愛することができるようになるのです。

立つことも歩くこともできなかったこの人が、自分の足で起き上がることができるようになった。彼が寝かされていた床、それは彼が、人によって担がれ、持ち運ばなければどこにも行くことができなかったことの象徴です。彼が愛されていることの象徴だと言ってもいいでしょう。愛すると言うことはその人を担うと言うことです。しかし今や彼はその床を担いで歩き出しました。担がれなければならなかった者が、担ぐ者・神を愛し、人を愛する者へと変えられたのです。今度は彼自身が隣人を、愛する者を担うようになったのです。

「あなたの罪は赦された」という主イエスの宣言は、彼にこのような目に見える具体的な新しい生活を与えられたのです。

(2018・7・1 説教者：稲垣真実)